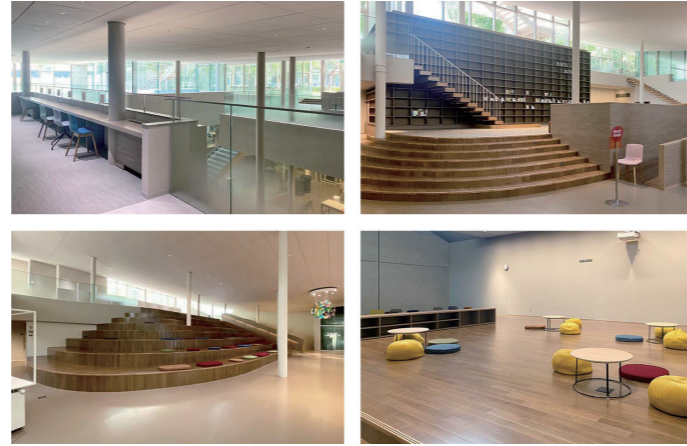


Common Nexus (コモンネクサス)



外観

「Common Nexus(愛称 ComoNe(コモネ))」は、東海国立大学機構が運営する共創スペース。名古屋大学敷地内に位置。地面がめくれ上がったような大屋根下に広がる地下空間では、人々と活動と自然が立体交差する。



内観

「Common Nexus(愛称 ComoNe(コモネ))」は、世代も領域も超えたつながりから、新しい交流や価値が生まれることをリードし、サポートする施設。名称は、Common=共有知、Nexus=つながりを意味している。



1F トイレ入口

すっきりとしたスタイリッシュな印象のトイレ入口。男女別トイレとバリアフリートイレの構成がひと目でわかるように、ピクトグラムを掲示している。



1F 男性トイレ
洗面コーナー

2段のカウンターでドライエリアを設け、手荷物の置き場所に配慮したツインデッキ(ボウル一体タイプ)を採用。プライバシーに配慮し、洗面器の間に間仕切り壁を設けている。



1F 男性トイレ
小便器コーナー

床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を仕切りを設けて設置。さらに、小便器と大便器は、においや汚れの発生を抑制する「きれい除菌水」搭載タイプとし、衛生性に配慮している。



1F 女性トイレ
洗面・
スタイリングコーナー

1F女性トイレの洗面コーナーは、手洗いからお化粧直しまでの一連の動作が1ヶ所で完結できるユニークなレイアウト。化粧ポーチなど手荷物が置けるカウンターやフックを設置。防犯対策として呼出ボタンも設けている。



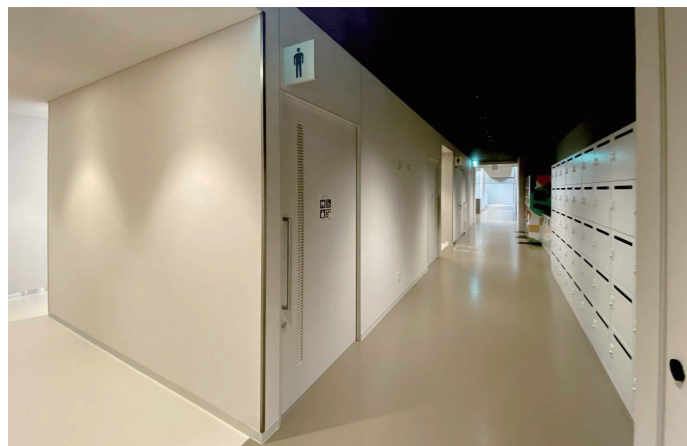
1F 女性トイレ
大便器コーナー

大便器ブースの間仕切り壁および扉上部を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに、個室感も高めている。



1F 女性トイレ
大便器ブース

大便器は床の清掃性が高く、連続洗浄可能な壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。男女トイレともに1ヶ所は広めのブースとし、着替えに配慮してフィッティングボードを設置している。



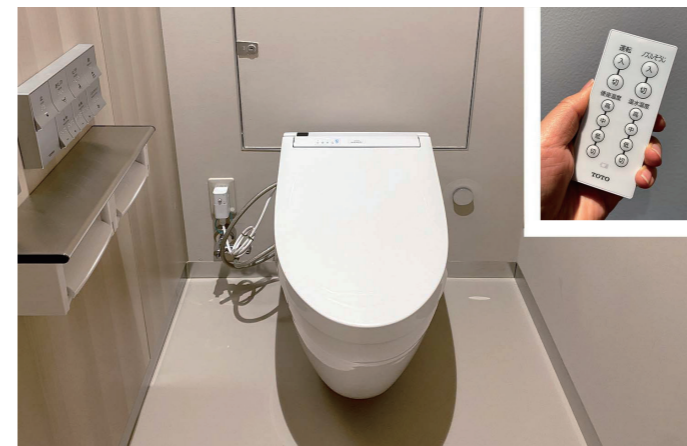
B1Fラウンジ横
トイレ入口

トイレ前にはロッカーや自動販売機が設置されており、手前から男性トイレ、左右勝手違いのだれでもトイレを2ヶ所、女性トイレの順で配置されている。



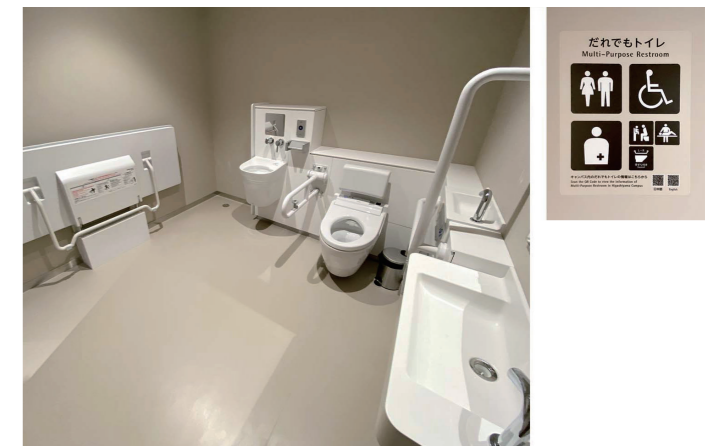
B1Fラウンジ横
男性トイレ
小便器コーナー

プライバシーに配慮し、小便器の間に仕切り壁を設置。また、手荷物に配慮して、仕切り壁などにフックを用意している。



B1Fラウンジ横
男性トイレ
大便器コーナー

大便器は、停電時洗浄レバー付きを採用。ウォシュレットには、電源不要のエコリモコンや、温度設定などの操作を連続して設定ができる管理清掃用リモコンを導入し、メンテナンス性にも配慮している。



B1Fラウンジ横
だれでもトイレ①

車いす使用者やオストメイトに配慮して汚物流しを備えたコンパクトバリアフリートイレパックを採用。だれでもトイレ①では、おむつの交換や衣服の脱着が可能な収納式多目的シートも完備している。



Common Nexus (コモンネクサス)



B1Fラウンジ横
だれでもトイレ②

さまざまな利用者に配慮して、だれでもトイレは左右勝手違いで2ヶ所設置している。



B1F大階段横
トイレ入口

大空間に分散されたトイレは、位置がわかるように、ピクトグラムで案内。ここでは、男女別トイレと授乳室の位置がひと目でわかるように掲示している。



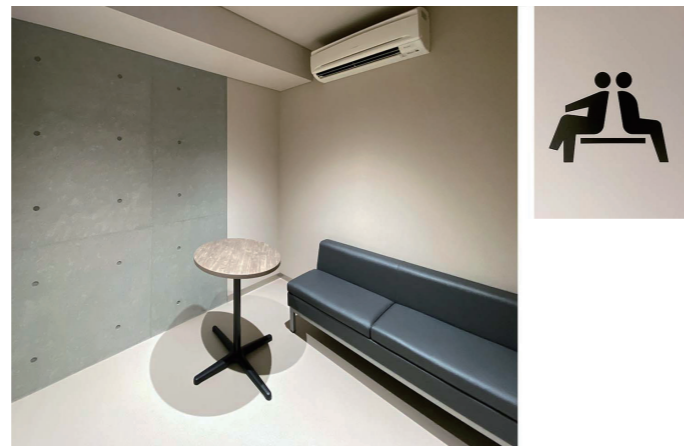
B1F大階段横
トイレ入口

手前から授乳室、休憩室、女性トイレ、男性トイレを配置。休憩室は、気分を落ち着けられるように少し奥まったレイアウトとしている。



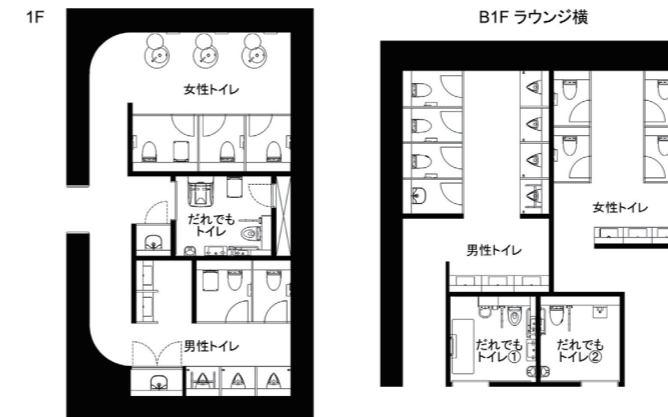
B1F大階段横 授乳室

快適に使用できるよう、授乳室には、エアコンやソファ、ミニテーブル、ベビーシート、ベビーチェア、洗面器が完備されている。



B1F大階段横 休憩室

休憩室には、エアコンやソファ、ミニテーブルを配置し、落ち着いて休憩ができる配慮がなされている。



トイレ図面



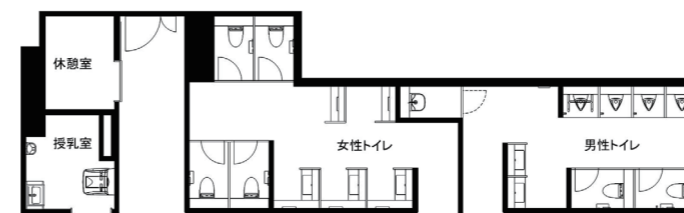
B1F大階段横
女性トイレ
洗面・
スタイリングコーナー

B1F大階段横女性トイレの洗面・スタイリングコーナーは、ブース形式。パーソナルスペースを確保したゆったりと身支度ができる空間で、快適に手洗いや化粧直しができる。防犯対策として呼出ボタンも設置されている。



B1F大階段横
女性トイレ
洗面・
スタイリングコーナー

洗面ブースの混雑を避ける工夫として、スタイリングブースを2ヶ所用意。洗面とスタイリングブースには、カウンターやフックなどを設けて手荷物への配慮がなされている。



B1F大階段横
トイレ図面

水まわりの特長

建物の特徴

2025(令和7)年7月に、名古屋大学東山キャンパス内、名古屋大学駅に直結する地に東海国立大学機構が運営する「Common Nexus(コモンネクサス)」(愛称はComoNe(コモネ))がオープンした。教育・研究施設の枠を超え、地域との共創を実践する開かれたコミュニティ拠点。名古屋大学・岐阜大学の学生や教職員はもちろん、地域住民やお子様たちにも開かれた探究の場であり、さまざまな交流を通じて、新たな価値の創出を目指す。本計画は、キャンパスの中心に位置する「谷戸(やと)」地形を再構築し、自然と共生する持続可能な空間を創出。地上の芝生広場は、豊田講堂と名古屋の街を結ぶ軸線上に広がり、かつての谷状地形や公園の記憶を継承しながら、地域にも開かれた普遍的な空間として整備している。

トイレの特長

延床面積が約7,300㎡という大規模な空間のためトイレは、メインフロアである地下1階に3ヶ所、地上1階のエレベーター付近に1ヶ所分散して設置。さらに、お子様から地域の方々まで、だれもが利用できる建物であることから、各トイレの周辺には、だれでもトイレや授乳室、休憩室などの個室も併せて配置している。また、いずれのトイレも、施設中心の大通りである「ラーニング・パスサージュ」から少し奥まった位置に設けることで、落ち着いて安心して利用できるよう配慮している。未来づくり共創拠点にふさわしく整えられたトイレ空間は、利用者からも「トイレの形状と空間構成がマッチしており、優しく柔らかな空間に感じる」「女子トイレの手洗いがユニークで空間が華やかでよい」などの声があがっている。

建築概要

名称	Common Nexus(コモンネクサス)
所在地	愛知県名古屋市千種区不老町
施主	東海国立大学機構 施設統括部
運営	東海国立大学機構 Common Nexus事務局
設計	意匠 株式会社小堀哲夫建築設計事務所 構造 株式会社小西建築構造事務所 設備 株式会社森村設計 外構 株式会社ランドスケープ・プラス
施工	建築 株式会社鴻池組 造作家具 愛知株式会社 電気 白川電気土木株式会社 機械 日本ファシリオ株式会社

竣工年月	2025年3月
敷地面積	243,660㎡
建築面積	5,469㎡
延床面積	7,313㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート、一部鉄骨造・地下2階、地上1階

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CSN
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534A
ウォシュレットPS(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5554APR
管理清掃用リモコン:TCA393
棚付二連紙巻器:YH702
自動洗浄小便器:UFS900JS
ツインデッキ(ボウル一体タイプ):MKWF
マルチユーザー向けカウンター:MLUA
洗面器:LS705
壁掛ハイバック洗面器:LSG125ANR
台付自動水栓:TLE26008J、TLE33003J
コンパクトノリアフリーストイルパック:UADAK21R1A2ADN2WA
収納式多目的シート:EWC520ARN
ベビーシート:YKA24N
ベビーチェア:YKA15S
フィッティングボード:YKA41R
LED照明付鏡(化粧照明タイプ):EL80016、EL80017
化粧鏡:YMK11K3、YM6090A
フック:YKH52AR